

事業者名	株式会社エナリス		
本社所在地	東京都千代田区神田駿河台2-5-1 御茶ノ水ファーストビル 14F		
業種	エネルギー（電力）事業、GX支援事業、VPP事業		
事業概要	再エネ調達・供給 / 再エネの有効活用（PV余剰電力活用・蓄電池運用代行） / FIP転サポート / 環境価値の顕在化（J-クレジット等） / 再エネ地産地消スキームの構築（地域新電力立上支援・運用支援） / EMS		
事業活動エリア	全国		
企業URL	https://www.eneres.co.jp/		
地方公共団体とのマッチングを望む分野	高 ← 優先度 → 低 1公共施設での太陽光発電 4マイクログリッド・VPP 2その他 5地域新電力・地域エネルギー会社 3カーボンオフセット・J-クレジット その他：PV余剰電力活用・FIP転支援・蓄電池		
地域づくりに貢献する「地域脱炭素」を通じて実現したい社会像	地域のエネルギー源を活用した、地域経済の活性化と持続可能な財政基盤の確立を目指します。 これまで域外流出していたエネルギーコストを地域内に留め、地産地消による経済循環を図るとともに、環境価値の創出による新たな収益機会を創出します。 計画から長期運用まで、一気通貫で自治体様に対して伴走支援します。		
地方公共団体の脱炭素の目標や課題に対して提供可能なソリューション	① 公共施設での太陽光発電に関する利活用（余剰電力の取扱い・併設蓄電池運用）とフィジカルPPA ・国の制度変更に伴う、自治体様が保有するFIT発電所の「出力制御による売電収入減少」回避を目的とした、FIP転における移行手続き支援および固定買取。 ・屋根上PVの余剰電力について、「余剰分のフィジカルPPA活用」「併設蓄電池活用支援」により創出された、再エネの利活用および地域内活用を支援。 ② 地域のエネルギー事業立ち上げ・運用伴走（代行） ・地域新電力会社の設立に向けた、初期の構想策定 / 計画立案 / 事業性確認 等の「伴走支援」。 ・設立後における、効率的な「運用受託（長期的なオペレーション支援）」。 ・域内の分散型電源活用による、地域内エネルギーマネジメント。 ③ カーボンクレジットの販売・創出支援および取引 ・J-クレジットにおける「創出～買取～販売」までの一貫した支援と収益機会の創出。 ・非化石証書の代理購入		
地方公共団体との連携実績	2021年：小田原市さまと「CO ₂ 排出量及び環境価値の可視化並びに価値化の試行に関する協定」を締結。 2023年：東京都さまと協同で「デジタル通貨でのサステナビリティリンク・ローンの実証実験」を実施。 2025年：ReCIDAコンソーシアムにて鳥取市佐治町さまと「交通事業モデルの検討・構築事業」に参画。 北海道 当別町PPA方式による太陽光発電設備導入事業公募型プロポーザルの最優秀者に選定。		